

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

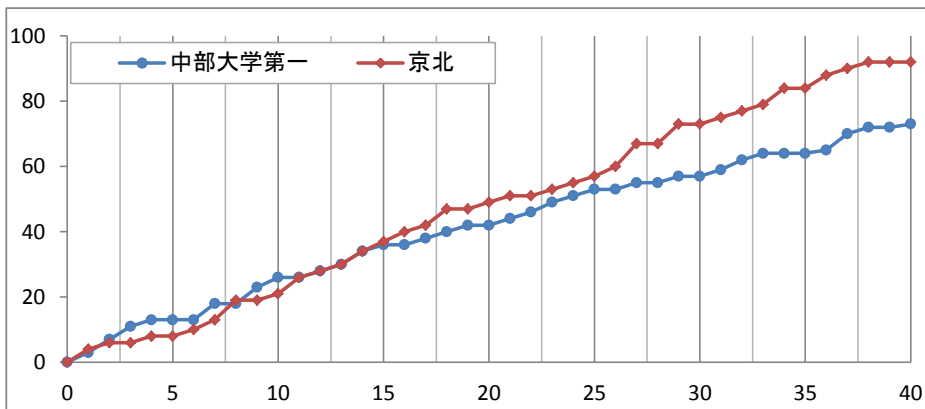
男子 2回戦
主審 大谷 英紀
副審 比嘉 涼太

中部大学第一 73 (愛知) ●

26 - 21
16 - 28
15 - 24
16 - 19
-

92 京北 ○ (東京)

No. 30e2 日時: 2013年7月30日(火) 11:40 会場: 大分県立総合体育館



中部大学第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	野中 達矢	0	0	0	0	1
5	栗原 堅	0	0	0	0	4
6	* 飯島 匡洋	30	3	10	1	1
7	高橋 一希	0	0	0	0	2
8	* 毕 光昊	27	0	12	3	2
9	広沢 龍星 (C)	-	-	-	-	-
10	* 福岡 博貴	9	0	4	1	2
11	ピリシベ 実会	0	0	0	0	0
12	坂本 秀斗	-	-	-	-	-
13	* 遠藤 和希	7	1	2	0	1
14	* 中村 浩陸	0	0	0	0	3
15	战 歌	-	-	-	-	-
コーチ	常田 健					
合計		73	4	28	5	16

京北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石原 卓 (C)	17	0	7	3	1
5	* 新川 敬大	30	4	7	4	0
6	* 川久保 駿	25	2	8	3	3
7	* 吉川 治耀	8	0	4	0	1
8	吉田 亘	0	0	0	0	0
9	平岩 アンソニーコリン	0	0	0	0	0
10	* 浅見 陸人	12	0	6	0	5
11	小森 敬輔	-	-	-	-	-
12	小林 汰雅	-	-	-	-	-
13	吉田 勇斗	-	-	-	-	-
14	浅香 陽光	0	0	0	0	1
15	盛満 拓郎	0	0	0	0	0
コーチ	田渡 優					
合計		92	6	32	10	11

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド両チームともハーフコートのマンツーマンDef。先制したのは京北#5のリング下シュート。その後#10の連続シュートで6点を奪う。対する中部大学第一は#13の3Pシュート、198cmの長身センター#8のポストプレイ#6、#13、#8の得点で応戦する。11-6と中部大学第一が流れをつかみかけたところで、京北#5の3P、ドライブで追撃。スティールから#7のブレイクで18-17とせまり、さらに#5のフリースローが2本入り逆転に成功する。対する中部大学第一は#10、#8のポストプレイ#6、#13のアウトサイドブレイクで応戦する。第1ピリオドは26-21で中部大学第一がリードした。第2ピリオドに入り京北は試合のスピードをアップしてくる。#4のフリースロー、#4のアシストから#6のブレイクなどで28-28と同点にした。中部大学第一も#6のアウトサイドシュート、#8のポストプレイで応戦する。第2ピリオド終盤残り1分57秒に京北#7のブレイクで40-47とリードされた中部大学第一はタイムアウトを請求。Defをハーフコートマンツーマンから3-2のハーフコートプレスゾーンに切り替え、#10の24秒ぎりぎりのシュートで42-47と追いつける。京北は残り50秒でタイムアウトを請求し一本返し、前半を42-49と京北逆転で後半を迎える。

第3ピリオドに入っても京北のスピードは衰えない。走ってレイアップシュートで得点する京北に対し中部大学第一は#8のポストプレイ#6の3Pシュート#10のポストブレイクで対抗する。試合のテンポを落ち着かせたい中部大学第一に対し京北はスローなテンポを許さない。疲れの見える中部大学第一はそれでもよく粘り、49-53と追いつける。残り4分20秒中部大学第一#8のリバウンドダンクシュートがリングに嫌われ惜しくもシュートミス。残り4分まったく足の衰えない京北はここから一気に走ってリードを広げ57-73と16点差にして第3ピリオドを終える。第4ピリオド京北は#4、#5、#6、#7のブレイクや1on1のドライブで得点を重ねる。対する中部大学第一の#6の3P、#8のポストブレイクで粘る。よく粘ったがそれを上回る走りコートで駆け回った京北が3回戦進出を決めた。

記者 大津 秀樹 (所属) 大分県バスケットボール協会